

## A ドイツ語（初級 A） 第 9 回 前置詞（後半）、並列の接続詞

範囲：教科書 S. 25-26（CD トラック 30-31）

### 《今回の基本例文》

24. Wegen des Examens arbeitet er jetzt sehr fleißig. (CD30-5)

試験のために、彼はいま非常に勤勉に勉強している。

#### [2 格支配の前置詞]

25. Der Ausländer fragt den Polizisten nach dem Weg. (CD31-2)

その外国人は警察官に道を尋ねている。

#### [特定の前置詞と結ぶ動詞による熟語（1）]

26. Ich warte hier schon lange auf meine Frau. (CD31-4)

私はここですでにながらく妻を待っている。

#### [特定の前置詞と結ぶ動詞による熟語（2）]

27. Das Land ist reich an Bodenschätzen. (CD31-5)

その土地は地下資源が豊富である。

#### [特定の前置詞と結ぶ形容詞による熟語]

### 教科書第 5 課 A. 前置詞（承前）

#### 教科書<sup>4</sup> 2 格支配の前置詞 (S. 24)

◇ 2 格支配の前置詞は、もともと副詞などほかの品詞であったものが名詞の 2 格をともな  
って使用されるようになったことから生じたもので、数が多い。ここでは、教科書にあるも  
のを覚えておけばよい。

\* ほかに、*diesseits* (*prep.* ～のこちら側に)、*jenseits* (*prep.* ～の向こう側に) など  
がある。また、複合語として、*um ... willen* (～のために) も 2 格支配の前置詞に準  
ずる。

- ◇ 教科書にもあるように、*trotz* と *wegen* は日常語では 3 格支配として使うことが多い。
- ◇ *statt* や *anstatt* (～の代わりに) は *instead of* と考えてよい。
- ◇ *trotz* (～にもかかわらず) は *in spite of* と考えてよい。
- ◇ *während* (～のあいだ) は *during* と考えてよい。
- ◇ *wegen* (～のために) は *because of* と考えてよい。
- ◇ *außerhalb* (～の外側に) は *outside*、*innerhalb* (～の内側に) は *inside* と考えてよい。

#### 教科書<sup>5</sup> 特定の前置詞と結ぶ動詞・形容詞

◇ 英語における *look at* や *be proud of* のように、ドイツ語でも特定の前置詞と結合して使

われる動詞や形容詞がある。その場合、格支配は前置詞のものを踏襲するが、3・4 格支配の前置詞と結合する場合、3 格と 4 格のいずれをとるかは動詞によって決まっている。

◇ 前置詞と動詞や形容詞の結合は、その動詞や形容詞を辞書で引くことによって確認できる。 その場合、

auf *et.*<sup>4</sup> antworten 〈物の 4 格〉に答える

*jn.* um *et.*<sup>4</sup> bitten 〈人の 4 格〉に〈物の 4 格〉を頼む

のような、略記号をともなった不定詞句として記載されている。 antworten auf や bitten um など、英語的な語順では書かれないことに注意。略記号の一覧は以下の通り。

略記号	読み方	意味
<i>js.</i>	jemandes	人の 2 格
<i>jm.</i>	jemandem	人の 3 格
<i>jn.</i>	jemanden	人の 4 格
<i>et.</i> <sup>2</sup>	etwas	物・事の 2 格
<i>et.</i> <sup>3</sup>	etwas	物・事の 3 格
<i>et.</i> <sup>4</sup>	etwas	物・事の 4 格

\* jemandes, jemandem, jemanden は jemand のそれぞれ 2 格、3 格、4 格。jemand (誰か、someone) と etwas (なにか、something) はいずれも不定代名詞で、のちにまとめて扱う。(⇒教科書第 13 課)

\*\* 独和辞典の場合、動詞や形容詞本体は省略されていることが多い。例えば、「antworten」の項目を引くと、単に「auf *et.*<sup>4</sup> ～に答える」のように書いてある(これが auf *et.*<sup>4</sup> antworten のことであるのは自明なので)。各自、使用中の辞書での表記法を確認されたし。

\*\*\* 初學者用の辞書や文法書では、2 格を②、3 格を③など、わかりやすい表記をする例も見られる。また、ドイツ語圏では現在は 1 格～4 格の数字は用いないので、独和辞典などでは、*et.*<sup>2</sup> は Gen、*et.*<sup>3</sup> は Dat、*et.*<sup>4</sup> は Akk のように表記されることが多い。

上記の略記号は、今後は本授業、配付資料でも踏襲する。

### 補足練習問題 1

辞書を参照して、以下の文から熟語を抜き出し、例の形式にならって意味を書き出せ。

例 : Der Ausländer fragt den Polizisten nach dem Weg.

→ *jn.* nach *et.*<sup>3</sup> fragen 〈人の 4 格〉に〈物の 4 格〉を尋ねる

Das Land ist reich an Bodenschätzen.

→ an *et.*<sup>3</sup> reich sein 〈物の 4 格〉に富んでいる

1. Sie denkt immer an die Sterne.

- .....;  
2. Die Christen glauben an Gott.  
3. Er verfügt über sein Geld frei.  
4. Rot steht für den Sozialismus.  
5. Er ist auf seinen Erfolg sehr stolz.  
.....;

.....;  
**補足練習問題 2**

教科書 S. 24 の Übung 6 の各小問について、補足練習問題 1 と同じ作業をせよ。  
.....;

**教科書 Übung 6**

1. niemand は、「誰も～ない」を示す不定代名詞 (英語の *nobody* に相当)。教科書 S. 52 に登場する *keiner* と同じ。  
6. **man** は、漠然と一般的な「人」を表す不定代名詞 (英語の *one* に相当)。語形変化表は以下の通りだが、取り敢えず初等文法では 1 格の用法を覚えること。 (⇒教科書 S. 52)

	man
1 格	man
2 格	(eines)
3 格	einem
4 格	einen

(例) Wie sagt man das auf Deutsch?

それはドイツ語ではどう言いますか?

**教科書第 5 課 B. 定動詞の位置 (2): 並列の接続詞 (S. 25)**

〈並列の接続詞について〉 (補足)

- ◇ **aber, denn, oder, und** の 4 語は**並列の接続詞**であり、  
・ 文頭  
・ 主文がいったん完結して読点でもう一つ別の主文をつなぐ際の、読点の次に置かれるのが基本である。  
◇ **aber** は *but*、**denn** は「なぜなら」という意味の *for*、**oder** は *or*、**und** は *and* と考えてよく、後二者については語源も同じ。  
\* 英語では「なぜなら」の意味の *for* は文章語的表現となるが、ドイツ語では日常会話でもよく用いる。  
◇ 教科書の例文...**aber ich bleibe zu Haus**.の **zu Haus** は「家に」の意味。この **zu** は、教科書 S. 22 で学んだ 3 格支配の前置詞 **zu** の基本的な意味 (移動の目的地) とは異なり、3 格と結ぶときの **in** (位置) に近い。熟語として覚えるとよい。

\* zu Hause というかたちもある。この-e は複数形の-e ではなく（Haus の複数形は Häuser）、古い 3 格の-e。 （⇒授業第 5 回配付資料 S. 1）

\*\* 移動の目的地として「家に」と言いたいときは nach Haus か nach Hause を用いる。

◇ 教科書の例文 Wir mögen ihn,...の ihn は人称代名詞 er の 4 格、mögen は話法の助動詞 mögen の一般動詞としての用法。 （⇒教科書第 6 課、第 7 課）

◇ 教科書の例文 Ich gehe zu Fuß,...の zu Fuß は「徒歩で」の意味。この zu も 3 格支配の前置詞 zu の基本的な意味（移動の目的地）とは異なる。やはり一種の熟語といえる。

#### 連絡先など

教員のメールアドレス：tokan@nifty.com 教員のウェブサイト：http://hasegawa.la.coocan.jp/

授業のウェブサイト（進捗表示、配付資料あり）：http://hasegawa.la.coocan.jp/lecture/